



第5次上尾市総合計画 の取り組み状況

総合政策課 ☎7751-3963
☎7761-8873

市では、平成23年度から10年間の計画期間とする第5次上尾市総合計画(基本構想、基本計画)の策定に向けた取り組みを進めています。これまで「現行総合計画の達成度調査」や「本市に係る社会動向の分析」、「市民意識調査」などの基礎調査を行い、市民組織「あげお近未来☆市民会議」や庁内の策定委員会などの組織で検討を重ね、基本構想(案)を作成しました。概要は、次のとおりです。

■基本構想(案)

基本構想は、本市のまちづくりの



基本構想(案)を検討する「あげお近未来☆市民会議」

基本的な理念と目指すべき姿、方向性の大筋を示すものです。目指すべき姿では、都市の将来像と合わせ、さまざまなまちづくりの施策を進める上での基礎となる将来人口や土地利用構想も示します。この基本構想に沿って、今後基本計画も策定していきます。

●基本理念と将来都市像

基本理念は、市民・事業者・行政が共通に持つべきまちづくりの考え方(姿勢)を示し、将来都市像は、10年後の目指すべき本市の姿を示すもので、次のとおりとします。

基本理念

協働・自立・共生・独創

将来都市像

笑顔きらめく「ほっと」なまち あげお

●将来人口

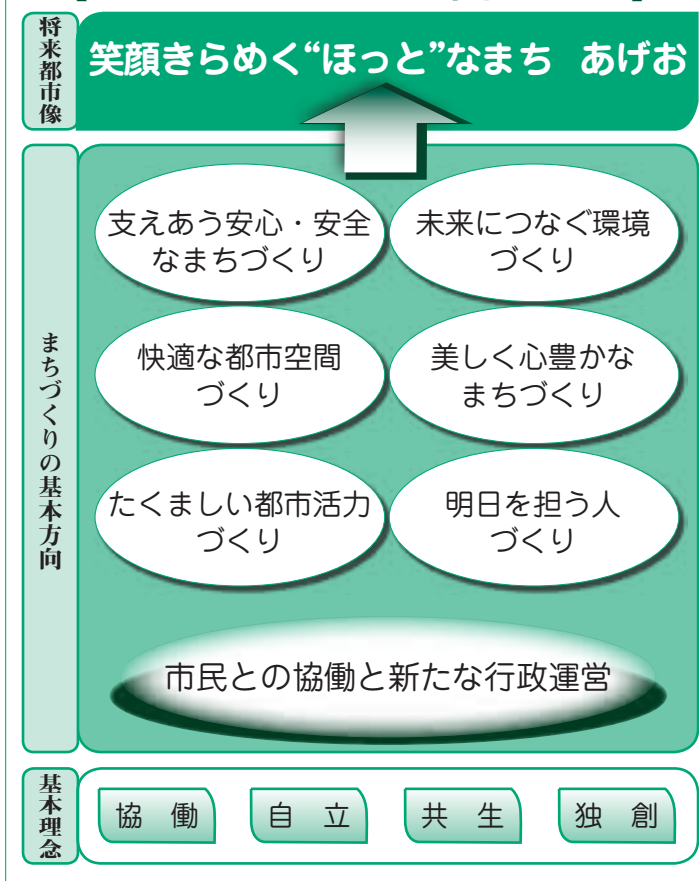
本市の人口は、現在も増加傾向にあります。全国的に進んでいる人口減少の流れと同様、おおむね平成27年前後をピークに、減少に転じることが予想されます。しかし、今後の施策展開による効果などを勘案し、次のように、現在と同程度の人口になると想定しています。

- ・平成27年/22万7,500人
- ・平成32年/22万7,000人

●土地利用構想

本市の土地利用は、JR上尾駅を中心に公共施設や生活関連施設

【第5次上尾市総合計画基本構想概要図】



などの都市機能を効率的、集約的に配置することにより、市街地の拡大をできる限り抑制し、自然や田園環境を保全しつつ調和の取れた都市空間を形成していきます。

●まちづくりの基本方向

第5次上尾市総合計画では、基本理念を念頭に置き、目指すべき将来都市像が達成できるよう、右図の7つのまちづくりの基本方向で分類された各種施策を実施していきます。

■今後の予定

第5次上尾市総合計画を、市民の皆さんの意見を反映した計画とするため、「あげお近未来☆市民会議」か

らの提言内容を踏まえながら、総合計画(案)を作成し、さらに広く市民の皆さんにご意見、ご提案を寄せていただく機会として「市民コメント」をことしの秋ごろに実施する予定です。また審議組織「上尾市総合計画審議会」(市議会議員、有識者、市民の代表で構成)でも審議しながら、12月には同計画を策定する予定です。市ホームページでも取り組み状況を随時掲載していきますので、皆さんからのご意見、ご提案などを電話またはファクス、メールで総合政策課(☎50700@city.ago.jp)へお寄せください。



市長 キラリ通心



笑顔あふれるまちを目指して

市長 島村 穰

市民の皆さん、こんにちは。市長の島村です。

4月といえば、満開の桜を思い浮かべますが、毎年美しく咲くその姿に慈しみと深い感動を覚えます。

2月21日にイコス上尾で、市主催の「防犯講演会」が開催されました。この講演会は、日ごろ市内で地域の安全のためにお力添えを頂いている自主防犯ボランティアの皆さんを対象に、平成16年から開催しているものです。

埼玉県は、防犯ボランティアの数が全国一を誇り、上尾市でも平成22年1月現在、98団体、約2,800人の皆さんが登録をし、まちの安全を支えてくださっています。

当日は、3月に6代目を襲名した三遊亭圓楽さんさんゆうていえんらくの一番弟子である三遊亭楽生さんさんゆうていらくせい(さいたま市岩槻区出身)による防犯落語「振り込め詐欺にご注意を！」の高座も披露されました。

開演前の控室で楽生さんから、上尾市についてい

くつか質問されたので答えたところ、冒頭から上尾の特色や特産物などふんだんに盛り込んだ落語で、会場を一気に笑いの渦に巻き込みました。「はなし家は、お客さまに笑いを提供し、お客さまの笑顔がはなし家に勇気を与えて場が作られる。いわばキャッチボールのようなものです」と楽生さんは話していましたが、市民の皆さんと行政の関係も同じように思えます。

一人一人の価値観が多様化する中では、公共サービスを行政だけで担うことが難しくなっています。その一方で福祉、環境、子育て、国際交流など多くの分野で市民の皆さんによる自発的・自主的な社会貢献活動が活発に展開されています。

そこで、市では5月15日(土)に「上尾市市民活動支援センター」をJR上尾駅東口プラザ館3階に開設します。そこでは、自主的に活動する非営利で公益的な市民活動の拠点としてだけでなく、これから活動を始めようとする人への相談や紹介など情報提供の場としても活用できます。

このように、市民の皆さんと行政とが情報や意見を交換する機会が増えることで、市民一人一人が自己実現できるまちづくりが推進されます。当センターを通じて、上尾市の一番の特色である市民の皆さんの「笑顔」という花が、桜のように満開になることを願っています。

ご参加ください

「夢・感動 シンポジウム」

青色発光ダイオード発明・開発者 中村修二さんと語ろう！

⇒指導課(☎775-9672・FAX775-5633)
上尾商工会議所(☎773-3111・FAX775-9090)

▶とき 5月14日(金)第1部/午後5時～、第2部/午後7時～(1部と2部の入れ替えあり)

▶ところ 文化センター大ホール

第1部

▶内容 中村修二さんと市内の中学生、高校生とのパネルディスカッション。テーマは「夢・感動！」、コーディネーターは下山せいりさん(西中学校卒業。高校2年生の時、国際学生科学技術博覧会優秀賞1位受賞。現在、筑波大学4年生)

▶対象 市内の小・中・高等学校の児童・生徒、保護者、教職員

▶定員 1,000人

▶申し込み 申込書(各学校で児童・生徒に配布)に必要事項を記入して各学校へ

第2部

▶内容 中村修二さんによる講演会。テーマは「不可能への挑戦！」

▶講師 中村修二さん(写真)

▶対象 市内に在住か在勤の人

▶定員 1,000人

▶申し込み 縦6×横9cm程度の枠内に、郵便番号、住所、氏名、参加人数を記入して4月28日(水)までにファクス(775-5633)か直接または郵送で指導課(市役所7階、〒362-8501本町3-1-1)へ

※先着1,000人に聴講券を郵送します。

【プロフィール】

中村修二 なかむら・しゅうじ 青色LED(発光ダイオード)の発明者。2000年より米国カリフォルニア大学サンタバーバラ校で教壇に立ちながら研究生を送る。2007年には同研究グループが、無極性の窒化ガリウム結晶を用いた青紫半導体レーザーを発表。発光効率が高まり、光ディスクの記録密度向上や、次世代DVD装置の低消費電力・長寿命などの可能性を開いた。2006年フィンランド政府からミレニアム技術賞を受賞。



中村修二さん